

様式の体裁は変更せず、ダウンロード時に記載済みの項目はそのままご利用ください。

記入例

(届出先)
横浜市
横浜市長

排出者区分	排出工程区分
1. 本市	1. 公共
2. 市外の公共	2. 民間
3. 中小企業者	
4. 大企業	
5. 処分業者	

産業廃棄物搬入届出書

安定型
(石綿含有を除く)

1

年 月 日

届出者(排出者)

住所 横浜市〇〇区〇〇

氏名 〇〇建設(株) 代表取締役 〇〇〇〇
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

電話 045 (〇〇〇) 〇〇〇〇

代表者印

2

業 種	1 小売業・サービス業	従業員数	資本金
該当する業種の番号を	2 卸売業		1000
〇で囲んでください。	3 工業・その他業種	20人	万円

横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する規則第18条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

発生場所	所在地	横浜市××区××		
	名称	△△工事		
担当者	氏名	〇〇〇〇		
	電話	×××(×××)××		
種類、荷姿、計画量及び処分回数(搬入台数)	160 廃プラスチック類 (石綿含有を除く)	ばら・袋・その他()	t	台
	161 ゴムくず	ばら・袋・その他()	t	
	162 金属くず	ばら・袋・その他()	t	台
	163 ガラス・コンクリート・陶磁器くず (石綿含有を除く)	ばら・袋・その他()	0.1	1 台
	164 がれき類 (石綿含有を除く)	ばら・袋・その他()	10	3 台
		ばら・袋・その他()	t	台

運搬者

収集運搬業者	所在地	横浜市△△区△△
	名称	××運輸(株)
	電話	045(▽▽▽)▽▽▽▽
	許可番号	第0140〇〇〇〇〇〇〇〇号
自己運搬	車両番号及び車両重量	1 2 3 4 2500kg
		kg

6

横浜市の処理施設

所在地 横浜市中区南本牧3番1、4番1地先

名称 南本牧第5ブロック産業廃棄物最終処分場

横浜市指示欄

搬入期間 年 月 日から 年 月 日まで

搬入番号

記入しないこと

(注意)

1 届出者(排出者)は、処分費用の支払義務者です。

2 署名することにより、氏名の記入及び押印に代えることができます。

3 担当者は、実際に当該廃棄物の搬出に関わる者です。

4 搬入届出書の内容に変更が生じた場合は、届出有効期間にかかわらず、再度搬入届出書を提出してください。

5 届出書の内容と産業廃棄物管理票等の内容が異なる場合は、搬入をお断りすることがあります。

受付

(A4)

資-10

産業廃棄物搬入届出書の記入方法について

前ページの記入例と以下の対応する番号を参考に記入してください。

- ① 4種類の搬入届出書から適切なものを使用してください。
(4種類の選択方法については本編 P.5 の「2 利用するための事務手続」参照)
- ② 届出者の記入日時点の情報を記入してください。届出者は**事業を実際に経営し、廃棄物の処理責任を負う者(建設工事においては元請業者)**であり、**建設工事の下請業者や収集運搬を委託された収集運搬業者等は届出者にはあたりません**。なお、工事契約等の場合は、原則として**契約書に記載されている請負人の住所氏名**を記入してください。また、押印については**法人の場合は代表者印、個人の場合は実印**を使用してください。
従業員数は会社全体の従業員数、資本金は資本総額又は出資総額を記入してください。
- ③ **所在地は廃棄物の発生場所の住所、名称は工事の場合は工事名、それ以外は事業所名**を記入してください。発生場所が複数ある場合は、「〇〇他△か所」や「〇〇区一円」のように記入してください。また、工事契約等の場合は、**契約書に記載されている内容と同様に記入**してください。
- ④ 担当者は、現場事務所等の担当者の氏名及び電話番号を記入してください。
- ⑤ 記入例を参考に、該当項目を○で囲んでください。荷姿に関しては原則として**石綿含有物以外は「ばら」、石綿含有物は「袋」**としてください。
搬入量は附属書に記入した根拠のある数値を記入してください。事前承認を受けている場合は、分析調査報告書に記載されている廃棄物排出量に合わせてください。
車両台数は廃棄物の種類ごとに、必要最小限の台数としてください。
- ⑥ 収集運搬を委託する場合は、委託業者の情報を記入してください。その際、車両のナンバー及び車両重量の記入は不要です。届出者自らが運搬する場合は、車両のナンバー及び車両重量を記入してください。レンタカーを利用する場合は、車両ナンバーの欄に「レンタカー」と記入してください。